

令和4・5年度 役員選挙当選者紹介

- ①氏名
- ②経歴・活動歴
- ③立候補の主旨・抱負など

理事候補者(12名)

	①河村岳樹(かわむら たけき) ②平成10年4月愛徳整肢園入職 平成12年1月 川内病院入職 平成13年7月和歌山労災病院入職 活動歴:平成15年より和歌山県作業療法士会理事(福利厚生・広報・圏域統括部) 平成30年より和歌山県作業療法士会 副会長 近畿学会、全国研修会、設立30周年記念事業実行委員 ③私はこれまで17年間福利厚生・広報・圏域統括の担当理事を務めさせていただき、4年前より副会長を務めさせていただいています。 若い会員の皆様が、積極的に参加したいと思えるような魅力ある和歌山県作業療法士会を目指し、頑張っていきたいと思えます。 よろしく願い致します。
	①明間 順子(あけま じゅんこ) ②職歴:2003年 国立療養所近畿中央病院附属リハビリテーション学院卒業 同年 琴の浦リハビリテーションセンター入職 2017年 和歌山労災病院入職 活動歴:2009年 和歌山県作業療法士会 教育部長 2012年 和歌山県作業療法士会理事(事務局長) その他 災害対策委員長、規約委員、臨床実習指導者講習会運営委員会委員長、第42回近畿作業療法学会実行委員長 ③理事(事務局長)として4期、災害支援対策委員長として3期、士会運営に携わりました。現在は臨床実習指導者講習会運営委員会委員長や第42回近畿作業療法学会実行委員長も兼任しております。コロナ渦の中だからこそ臨床業務だけでなく、作業療法士として、対象者の方のために会員の皆様のために何をできるのかを日々考え、今後も尽力したい思います。
	①藤田 純(ふじた じゅん) ②2004年昭和大学医療短期大学卒業。 総合病院、老人保健施設勤務を経て、2021年より田辺中央病院(現職)に勤務。 第13回和歌山県作業療法学会会長。 和歌山県作業療法士会地域包括ケアシステム推進部総合事業推進委員会副委員長。 2020年より和歌山県作業療法士会理事。 ③ここ数年、田辺西牟婁圏域の地域リーダーとして地域包括ケアシステム推進部に関わらせていただき、2020年より、理事として地域包括ケアの推進部に関わっています。今後は、地域ケア会議にとどまらず、地域支援事業への作業療法士参画のために尽力し、作業療法が地域の中に根付いていくことを目指していきたいと考えています。今後とも皆様のご協力、ご支援よろしくお願い致します。
	①桐竹 真由美(きりたけ まゆみ) ②平成9年:琴の浦リハビリテーションセンター入職。 平成15年:第3回県作業療法学会 学会長。学術部身体障害部門部長 平成16年:第24回近畿作業療法学会 企画運営委員 平成17年:第4回県作業療法学会 運営委員 平成19年:県士会 渉外部部員 平成25年:県士会 広報部部員 平成28年:第36回近畿作業療法学会 運営委員 ③ 男女雇用機会均等法が施行された年に入職し、子育て制度を使用しながら作業療法士を続けることができています。女性が多い職種ですが、日本特有の問題と同様、理事会などでは男女共同参画とはなっていないのが現状です。仕事、家事、育児の経験を生かした立場から、県士会員、地域の皆様のお役に立てればと考えております。よろしくお願い致します。



①小島 徹也 (こじま てるや)
 ②平成16年 作業療法士免許取得 同年 医療法人田村病院 精神科作業療法開設 平成22年より 和歌山県作業療法士会 理事 事業部担当を経て現在制度対策部担当 平成31年1月より訪問看護ステーション メンタルナース勤務

③今回も立候補させていただくこととなりました。我々、作業療法士は医療・介護領域の中で様々な課題(介護予防や地域包括ケアシステムなど)に役立つ職種として生き残ろうとしています。社会や地域にとって必要とされる作業療法士となるよう、より一層の努力が求められる今の時代を会員の皆様のお役に立てればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



①中瀬 浩司(なかせ こうじ)
 ②平成10年3月 福井医療技術専門学校 卒業
 平成10年4月 公立神崎総合病院 入職
 平成14年4月 老人保健施設自彊館 入職
 平成20年4月 独立行政法人南和歌山医療センター 入職
 和歌山県作業療法士会 副会長、財務部

③今期は副会長、財務部を担当させて頂きました。来期では今期より続く混乱した世の中で、今だからこそ出来る県士会活動を模索し、確立していくために微力ながら尽力したいという思いで立候補いたしました。和歌山県士会を盛り上げるべく、今まで以上に皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



①川 雅弘(かわ まさひろ)
 ②1993年4月～2021年3月 社会福祉法人 琴の浦リハビリテーションセンター
 2021年4月～ 学校法人響和会 和歌山リハビリテーション専門職大学 現在に至る
 1997年より 理事
 2012年より 代表理事(会長) 現在に至る
 2016年 第36回近畿作業療法学会 学会長
 2011年より 日本作業療法士協会 代議員

③コロナ禍から見てきた士会活動の課題を好機と捉え、今後の事業を県内全域に展開しやすくなるような取り組みを実施したいと考えている。引き続き、会員の皆様の協力を得ながら社会貢献ならびに作業療法の啓発、職業地位の向上を目指していきたい。私自身、今年度より職場がかわり、立ち位置の変更もあったが、これまでなかった養成校との連携も含めた産学官連携ができる取り組みを、各機関に働きかけながら、ますますの県士会の活性化を進めていきたいと考える。



①鍵野 将平(かぎの しょうへい)
 ②経歴: 2012年～ 社会福祉法人 琴の浦リハビリテーションセンター 入職 現在に至る
 2016年～ SIG認定 運転すんの会せんの会 代表
 2018年～ 和歌山県作業療法士会 理事

活動歴: 自動車運転と移動支援推進委員会、県作業療法学会運営委員会の委員長として主に活動行い介護ロボット開発事業にも携わりました。

③3期目の立候補となります。鍵野将平と申します。2年間コロナ禍により思ったような活動ができない面もありましたが、会員の皆様のお力添えにより、県内初のオンライン学会や、その他オンライン上での企画を実行できました。誠にありがとうございました。まだまだ予断を許さない状況ではございますが、可能な限りで県士会員の皆様に還元できるように尽力し、また和歌山から全国に発信できるような活動をしていきたいと思っております。未熟者ではございますが、顔の濃さと活動の濃さとで和歌山県作業療法士会を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



①藤田 康平(ふじた こうへい)
 ②平成19年3月: 四條畷学園短期大学卒業
 平成19年4月～現在: 日本赤十字社和歌山医療センター勤務
 平成26年～現在: 広報部理事

③広報部理事として①ホームページ管理②機関誌編集・発送③一般・他団体へ向けた普及啓発事業を行ってきました。今後も会員の皆様や一般の方への広報活動を行っていきたくと思っています。



①見形 紘子(みかた ひろこ)口
②2002年～国保野上厚生総合病院精神科にて作業療法士をスタート
2016年～精神科作業療法室係長として管理職に従事
海南・海草圏域障害者自立支援協議会精神保健福祉部会委員
紀美野町認知症啓発活動事業(認知症サポーター)の運営及び講師、紀美野町地域ケア
会議委員、和歌山県作業療法士会 制度対策部員、臨床実習指導者委員、認知症の人の
生活支援推進委員
③県士会では、制度対策部員、認知症の人の生活支援推進委員、臨床実習指導者講習運営
委員で活動してきました。今回、県士会の発展に寄与できるよう理事に立候補いたしました。精
神科領域の改革に貢献すること、前任者が作った認知症を支援する作業療法士の育成活動を
確固たるものにすること、女性会員の士会活動が増え活躍できる環境・仕組みを構築すること、
に働きかけていきたいと考えております。行動力を生かして頑張りますのでよろしくお願いいたします。



①西田 裕希(にしだ ゆうき)
②2004年～ 医療法人南労会 紀和病院
2012年 介護支援専門員取得 2016年 認定作業療法士取得
活動歴
2014年度～2016年度 和歌山県作業療法士会 学術部 部長
2016年度～現在 和歌山県作業療法士会 理事
(学術部、事業部、テクノロジー推進委員会)
2022年(予定) 第42回近畿作業療法学会 事務局長
③ 2016年度から3期(6年間)和歌山県作業療法士会理事として学術部、事業部等多くの活動
を経験させて頂きました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業がオンライン化とな
り、次年度は今後の県士会活動の方法や内容を見直していく転機かと考えています。新しい試
みに挑戦しつつ、会員同士の繋がりを強化出来るよう努めたいと思います。よろしくお願いいたします。



①杉谷 武人(すぎたに たけと)
②【経 歴】平成17～令和元年度:和歌山県作業療法士会 理事
(教育部・子ども支援委員会)
【活動歴】平成17～令和元年度:日本作業療法士協会 教育部
生涯教育制度推進班 近畿ブロック長
平成27～令和元年度:日本作業療法士協会 教育部 基礎研修制度班
③和歌山県作業療法士会の役割の1つに「会員、一人ひとりの作業療法士としての成長と活
躍を支えること」が挙げられると思います。私は前任期中より、教育部で生涯教育制度に関わっ
てきています。作業療法士が増え、社会的認知が高まるとともに、その質も問われる時代となっ
ています。そのためにも、卒後教育はとても重要であり、協会、士会ともに最重要課題としていま
す。また、こども支援委員会は、「こども支援」としたように、和歌山のこども達へ作業療法を届
けたい思いを持って進めています。引き続き、和歌山に貢献できる作業療法士に成長できるよ
う、お手伝いしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

監事候補者(2名)



①桐竹 清文(きりたけ きよふみ)
②昭和62年～平成32年:琴の浦リハビリテーションセンター入職, S63年～H23年:和歌山県作業療法士
会理事, H23年～R4年:和歌山県作業療法士会監事 H16年:神戸大学大学院 医学系研究科
保健学修士取得, 平成18年～平成21年:日本作業療法士協会 保健福祉部員, 平成16年:日
本作業療法士協会 認定作業療法士に認定
■著書実績:中枢神経疾患に対する作業療法 234-240. 252-259. 2009
OTジャーナル 42(7):756-760. 2008
③法人関係の登記や税理士及び社労士と連携して様々な活動関係に携わってきた経験、4期8
年の当県士会での監事経験を活かして、適正な予算、財産目録、収支報告、理事の職務執行
の監査に努めさせて頂きました。今後も県士会や会員の皆様のお役にたてるように頑張って
いきたいと思っていますので、ご支援よろしくお願いいたします。



①沖野 千絵(おきの ちえ)
②昭和62年3月 国立療養所近畿中央病院附属リハビリテーション学院 卒業
昭和62年4月 医療法人医誠会 富士原病院 入職
昭和63年4月 琴の浦リハビリテーションセンター 入職
平成2年 4月 国立白浜温泉病院 入職
平成4年 7月 国立南和歌山病院(現南和歌山医療センター) 転任
和歌山県作業療法士会 倫理委員会委員長
③今期より監事の職を担当させて頂くこととなりました。
和歌山県士会発展のお役に立てる様尽力したいと思っています。宜しくお願い申し上げます。